2022. 4～6 №60

かなしん景況レポート

三浦半島地域活性化
協議会主催

「横須賀・三浦フォトコンテスト」入賞作品

（横須賀市汐入町）

目　次

景気動向	地域経済(全業種総合)	2
	業種別経済	6
	特別調査	18
お客様景況インタビュー	株式会社　中村屋羊羹店　「～海苔羊羹発祥の店、伝統の味を守り続けて～」	19
トピックス	「神奈川県の景況感について」	3
	「経済指標について：DX(デジタルトランスフォーメーション)」	9

調 査 概 要

調査時期	令和4年5月17日から令和4年6月3日まで
調査地域	横須賀市・逗子市・三浦市・三浦郡葉山町・鎌倉市・横浜市・川崎市・藤沢市・茅ヶ崎市 大和市・綾瀬市・高座郡寒川町
調査方法	調査員による面接聞き取り方式又は対象企業先による直接記入方式
分析方法	各質問項目で、「増加（上昇）」したとする企業が全体に占める構成比と、「減少（下降）」したとする企業の構成比との差（D.I.）を中心にして分析を行いました。
回答率	調査先数　当金庫取引先　500先　　回答先数　493先　　回答率　98.6%

全業種総合天気図

	2021年7～9月	2021年10～12月	2022年1～3月	2022年4～6月	2022年7～9月 来期予想
全業種総合					
製造業					
卸売業					
小売業					
サービス業					
建設業					
不動産業					

低調 ← 天気図 → 好調

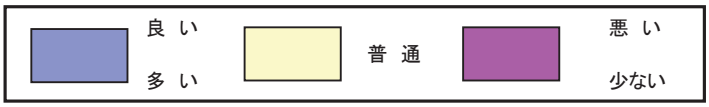
この天気図は、景気指標を総合的に判断して作成したものです。

かながわ信用金庫
かなしん

全業種総合

～業況は建設業、不動産業以外は改善、来期は不動産業以外は改善見込み～

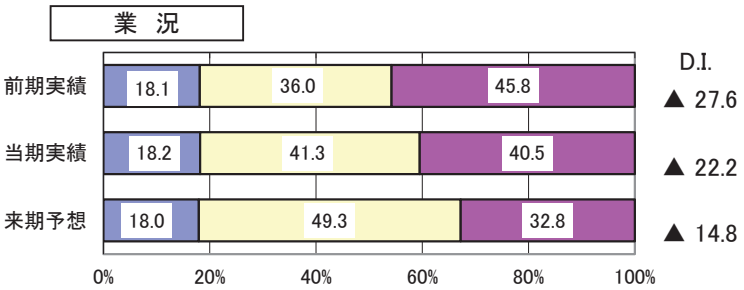
当期実績（2022年 4～ 6月期実績）
来期予想（2022年 7～ 9月期予想）



1. 業　況

当期 → 予想

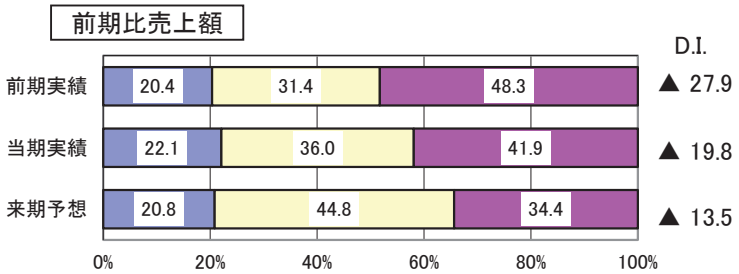
当期の業況判断D.I.は▲22.2と、対前期比5.4ポイントの改善となり、前回調査時における今期見通し（▲21.4）を0.8ポイント下回りました。業種別に見ると、製造業、卸売業、小売業、サービス業は改善となり、建設業、不動産業は低下となりました。全業種の来期予想D.I.は▲14.8と、7.4ポイントさらに改善をする見込みです。

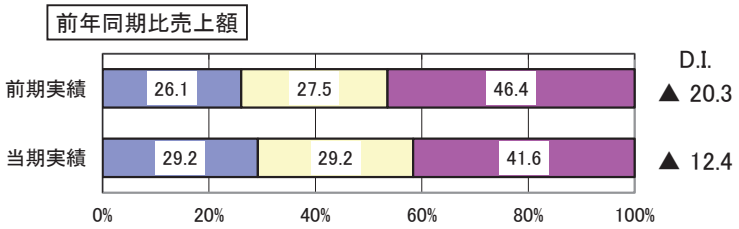


2. 売 上 額

当期 → 予想

当期の売上額判断D.I.は▲19.8と、対前期比8.1ポイントの改善となりました。業種別に見ると、不動産業のみ低下となり、他の業種は改善となりました。特にサービス業が24.5ポイントの大幅な改善となりました。対前年同期比の売上額判断D.I.は▲12.4と、1～3月期から7.9ポイントの改善となりました。全業種の来期予想D.I.は▲13.5と、6.3ポイントさらに改善をする見込みです。

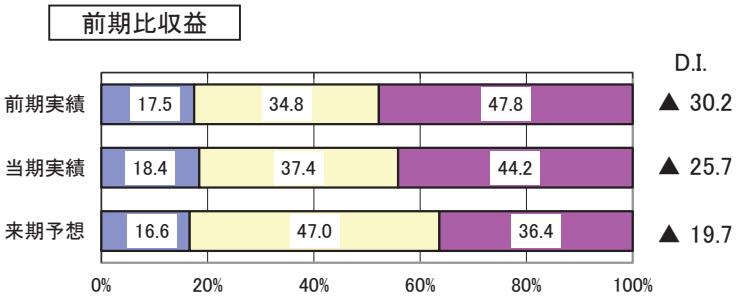


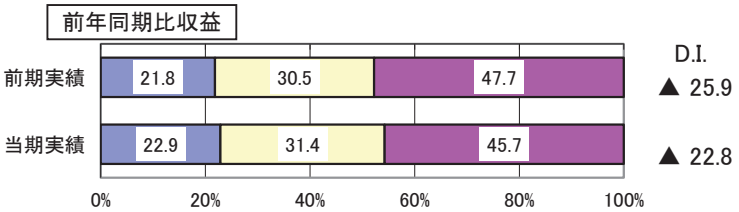


3. 収　益

当期 → 予想

当期の収益判断D.I.は▲25.7と、対前期比4.5ポイントの改善となりました。業種別に見ると、製造業、小売業、サービス業は改善となり、卸売業、建設業、不動産業は低下となりました。特にサービス業が22.2ポイントの大幅な改善となりました。対前年同期比の収益判断D.I.は▲22.8と、1～3月期から3.1ポイントの改善となりました。全業種の来期予想D.I.は▲19.7と、6.0ポイントさらに改善をする見込みです。

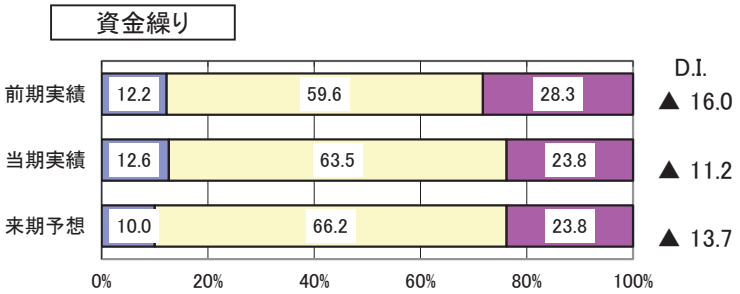




4. 資金繰り

当期 → 予想

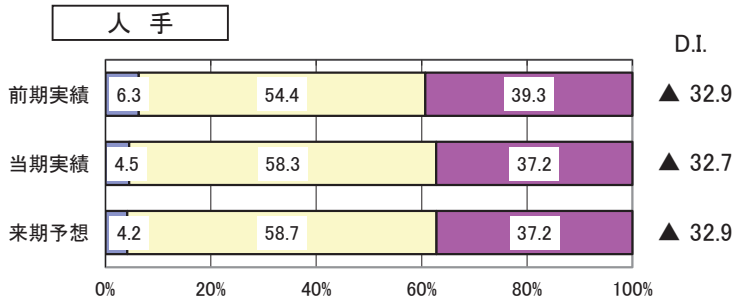
当期の資金繰り判断D.I.は▲11.2と、対前期比4.8ポイントの改善となりました。業種別に見ると、製造業、小売業、サービス業、建設業で改善となり、卸売業、不動産業は低下となりました。全業種の来期予想D.I.は▲13.7と、2.5ポイントの低下をする見込みです。



5. 雇　用

当期 → 予想

当期の雇用判断D.I.（過剰−不足）は▲32.7と、対前期比0.2ポイントの小幅改善となりました。業種別に見ると、建設業が4.8ポイント改善したものの、D.I.は▲42.5と、最も厳しい水準となりました。全業種の来期予想D.I.は▲32.9と、人手不足感は小幅強まり、厳しい水準が続く見込みです。

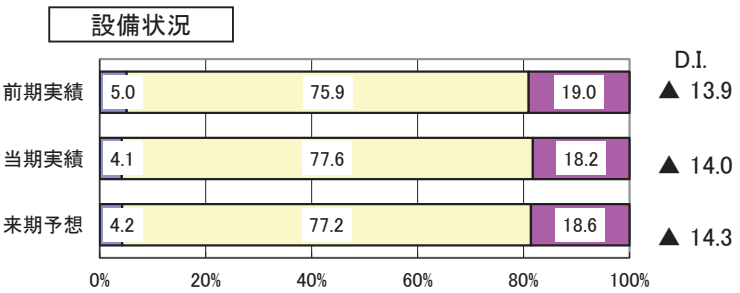


※雇用判断D.I.（過剰－不足）　マイナスは人手不足

6. 設備状況

当期 → 予想

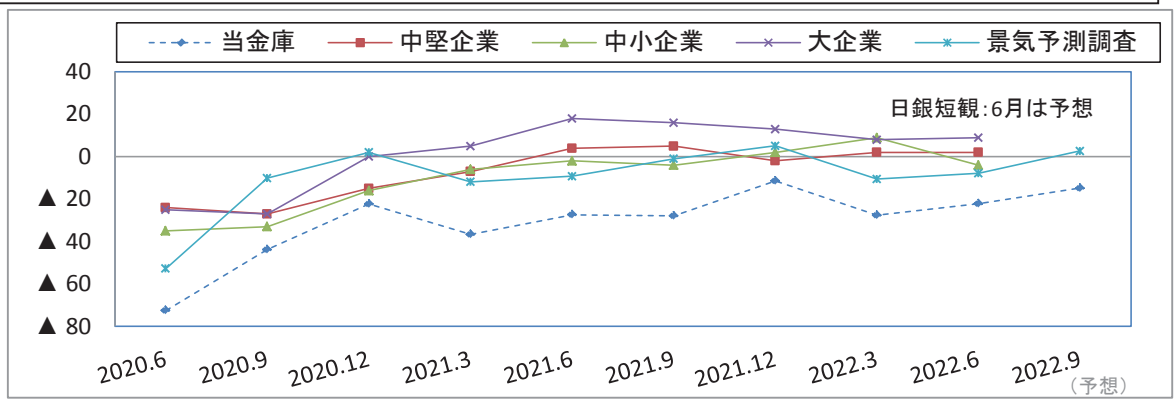
当期の設備状況判断D.I.は▲14.0と、対前期比0.1ポイントの小幅低下となりました。全業種の来期予想D.I.は▲14.3と、不足感はさらに小幅に強まる見込みです。



神奈川県の景況感について

神奈川県金融経済概況（2022年5月分）では、「供給制約の影響を強く受けながらも、新型コロナウイルス感染症の影響が和らぐもとで、基調としては持ち直している。ただし、地政学的リスクの高まりに伴う影響には、注視が必要である」と、前回判断が据え置かれました。項目別では、＜輸出＞、＜生産＞が引き下げられ、＜雇用・所得環境＞、＜個人消費＞、＜住宅投資＞が引き上げられました。また、神奈川県の経済情勢報告（令和4年4月判断）の総括判断は、「新型コロナウイルス感染症の影響が引き続きあるなか、供給面での制約の影響がみられるものの、緩やかに持ち直している」と前回判断が据え置かれました。項目別では、＜生産活動＞、＜企業の景況感＞が引き下げられ、その他は据え置きとなりました。全国単位では、令和4年5月の月例経済報告の基調判断を「景気は、持ち直しの動きがみられる」として判断が引き上げられました。このように神奈川県、全国共に景気の持ち直しの動きがみられるものの、供給制約や原材料価格の上昇等による下振れリスクに注意が必要です。

日銀短観（企業規模別）、法人企業景気予測調査(横浜財務事務所)、当金庫業況DIの推移

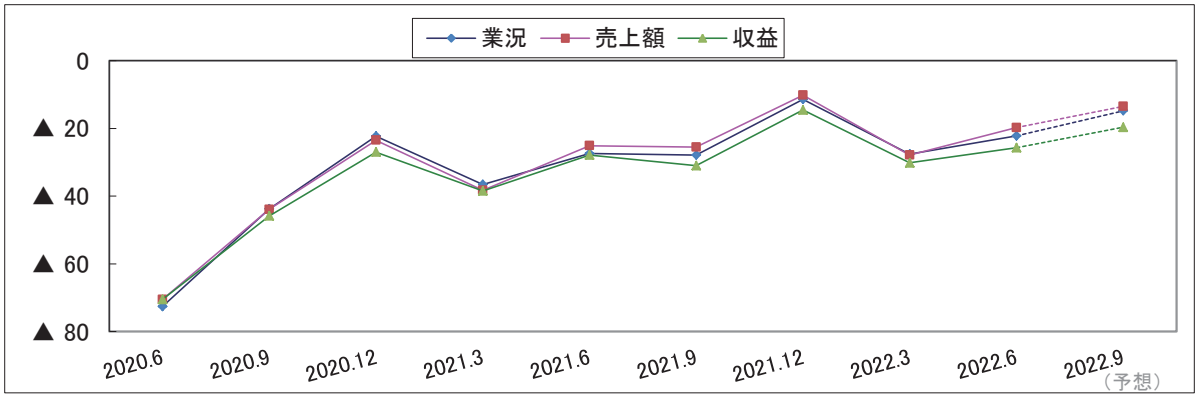


「日銀短観（神奈川県分）」（2022年6月分）は未発表のため、本レポート作成時点では上記短観の調査結果は確認できていませんが、発表済公的調査の景況感において、新型コロナウイルス感染症の影響が和らぐもとで、基調としては持ち直していると示されていることから、小幅低下・横ばいを示した前回調査予測と同程度もしくは改善する可能性があると思われます。しかしながら、資源価格上昇などの影響には、注視が必要です。

関東財務局横浜財務事務所発表の「法人企業景気予測調査」では、2022年4～6月期は2.8ポイント改善の▲7.8と2022年1～3月期に続きマイナス水準となっています。大企業・中堅企業・中小企業といずれも下降幅の縮小となり、大企業・中堅企業は2022年7～9月期にプラス水準へ転じる見通しで、中小企業は下降幅を縮小しながら推移していく見通しです。全体規模では2022年7～9月期は、2.7とプラス水準に転じる予想となっています。

「当金庫景気動向調査」では、前回調査時業況判断指数ＤＩ▲27.6から5.4ポイント改善し、▲22.2となりました。2022年7～9月期予測では7.4ポイント改善する見込みです。

業況・売上額・収益D.I.の推移（全業種総合：当金庫）

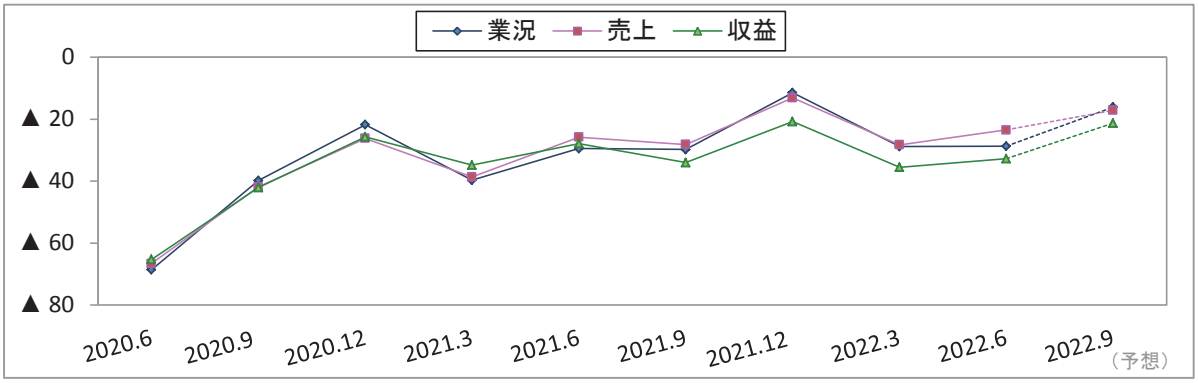


2022年4～6月期の業況判断D.I.は▲22.2と、対前期比5.4ポイントの改善となり、前回調査時における今期見通し（▲21.4）を0.8ポイント下回りました。売上額判断D.I.は▲19.8と、対前期比8.1ポイントの改善、収益判断D.I.は▲25.7と、対前期比4.5ポイントの改善となりました。

「原材料、各種処理加工費等が3月以降15～20%の値上要請があり、認めざるを得なかった」（製造業）、「原材料（仕入）の高騰が止まらず、単価の変更等に時間を取られ収益の増加が図れない」（卸売業）、「戦争やコロナ禍で世界、国内の社会不安の中、元受会社は発注の時期を見合わせている」（建設業）、「土地の仕入価格、建物価格の高騰により、一棟あたりの販売価格も上昇している」（不動産業）等、依然として新型コロナウイルス感染症、ウクライナ情勢等の影響による、不透明な先行きを不安視しているコメントが多く寄せられました。

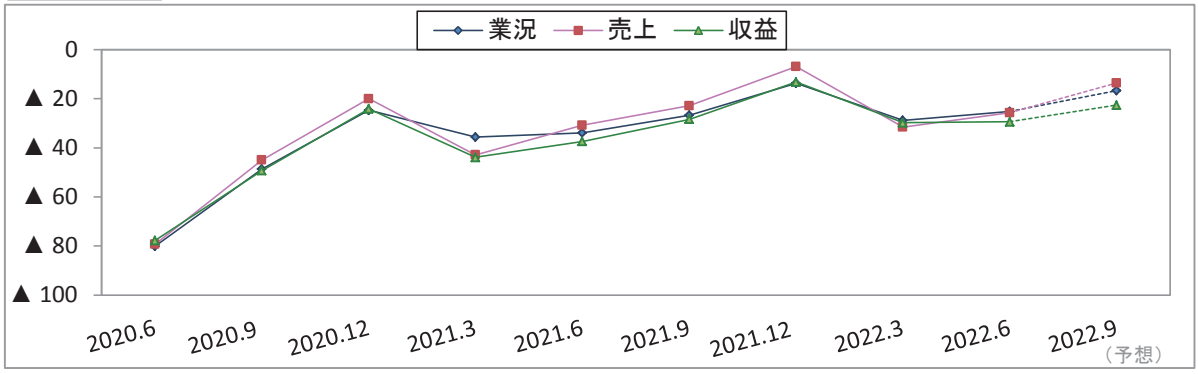
地区別の業況・売上・収益の推移（当金庫）

横須賀地区



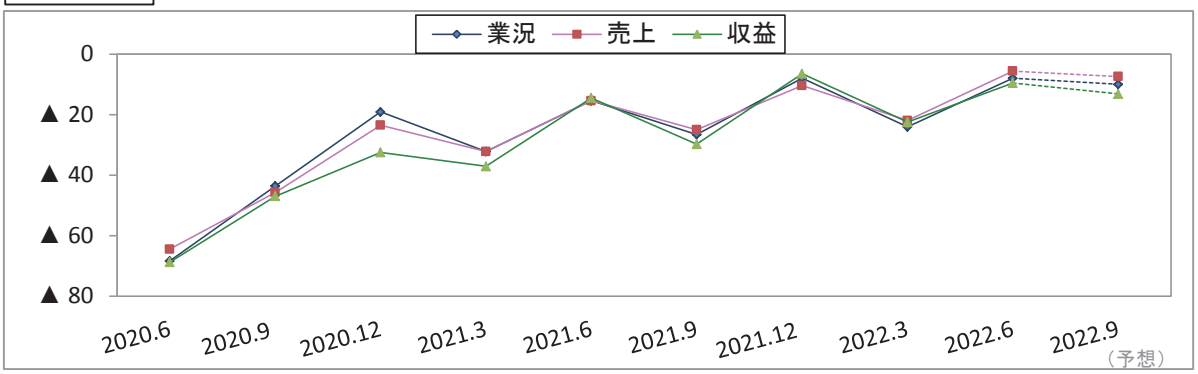
横須賀地区の2022年4～6月期の業況判断D.I.は▲28.7と、対前期比0.1ポイントの小幅改善となり、売上、収益についても改善となりました。来期予想については、業況判断D.I.は▲16.1と12.6ポイント改善する見込みで、売上、収益についても改善を見込んでいます。

横浜地区



横浜地区の2022年4～6月期の業況判断D.I.は▲25.2と、対前期比3.7ポイントの改善となり、売上、収益についても改善となりました。来期予想については、業況判断D.I.は▲16.7と、8.5ポイント改善し、売上・収益についても改善を見込んでいます。

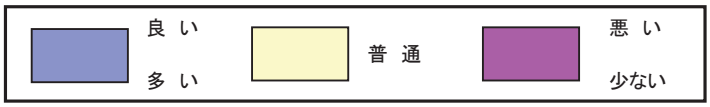
藤沢地区



藤沢地区の2022年4～6月期の業況判断D.I.は▲8.0と、対前期比16.1ポイントの2桁改善となり、売上、収益についても2桁改善となりました。来期予想については、業況判断D.I.は▲10.0と、▲2.0ポイントと低下する見込みです。売上、収益についても低下を見込んでいます。

製造業 ～業況は小幅改善、来期は2桁の改善を見込んでいる～

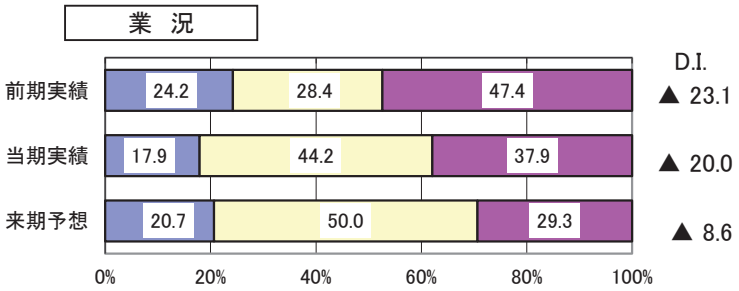
当期実績（2022年 4～ 6月期実績）
来期予想（2022年 7～ 9月期予想）



1. 業　況

当期 → 予想

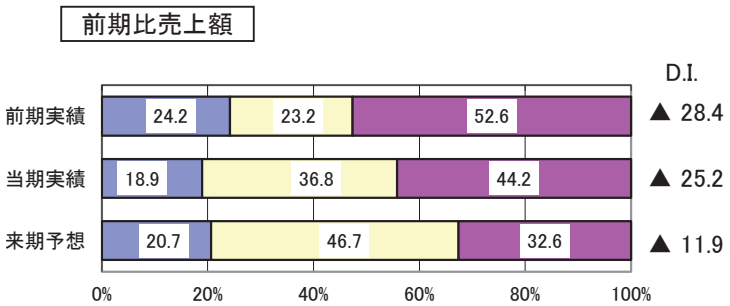
当期の業況判断D.I.は▲20.0と、対前期比3.1ポイントの改善となり、前回調査時における今期見通し（▲6.3）を13.7ポイント下回りました。来期予想については、D.I.は▲8.6と、11.4ポイントさらに2桁改善をする見込みです。

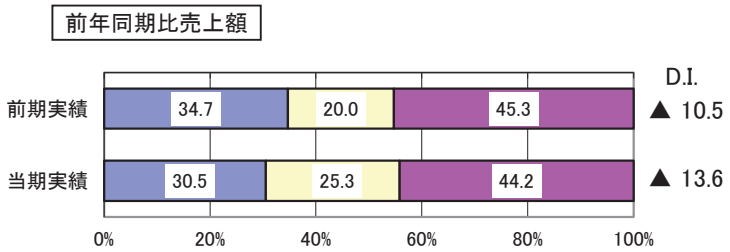


2. 売上額

当期 → 予想

当期の売上額判断D.I.は▲25.2と、対前期比3.2ポイントの改善となりました。対前年同期比の売上額判断D.I.は▲13.6と、1～3月期から3.1ポイントの低下となりました。来期予想については、D.I.▲11.9と、13.3ポイントさらに2桁改善をし、改善幅が最も大きな業種となる見込みです。

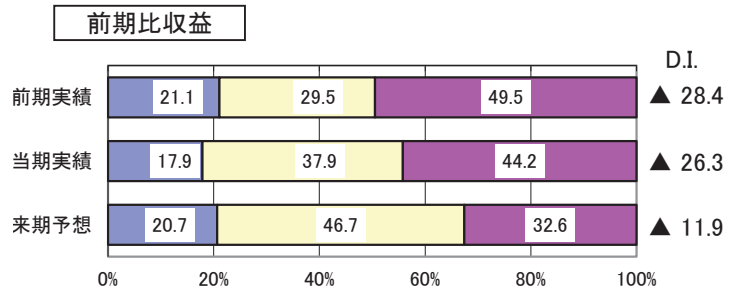


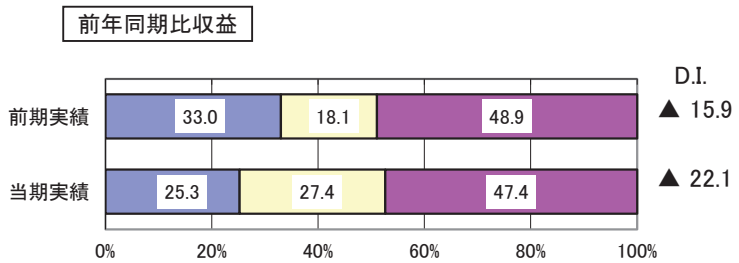


3. 収　益

当期 → 予想

当期の収益判断D.I.は▲26.3と、対前期比2.1ポイントの小幅改善となりました。対前年同期比の収益判断D.I.は▲22.1と、1～3月期から6.2ポイントの低下となりました。来期予想については、D.I.は▲11.9と、14.4ポイントさらに2桁改善をする見込みです。

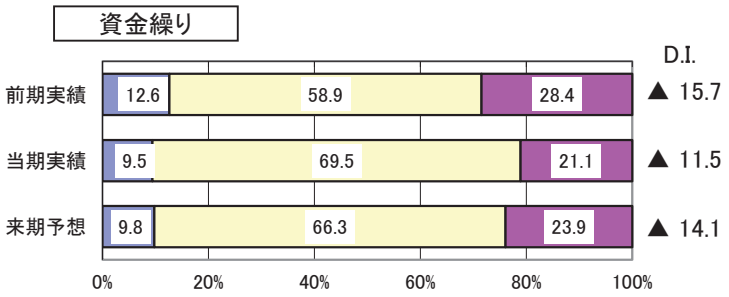




4. 資金繰り

当期 → 予想

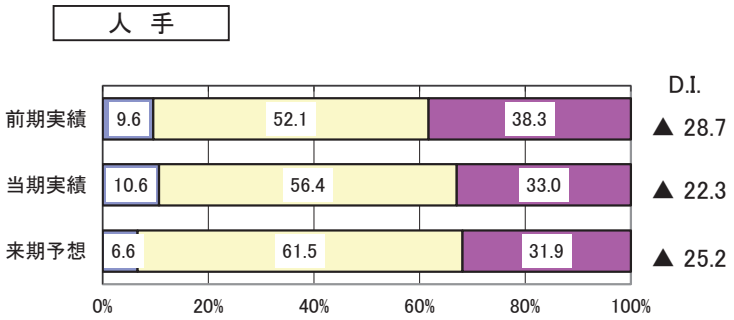
当期の資金繰り判断D.I.は▲11.5と、対前期比4.2ポイントの改善となりました。来期予想については、D.I.は▲14.1と、2.6ポイントの低下をする見込みです。



5. 雇　用

当期 → 予想

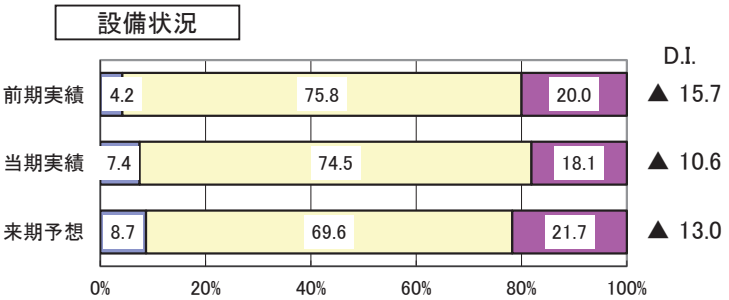
当期の雇用判断D.I.（過剰-不足）は▲22.3と、対前期比6.4ポイントの改善となり、マイナス水準ながらも、最も良い水準の業種となりました。来期予想については、D.I.は▲25.2と、人手不足感は多少強まる見込みです。



6. 設備状況

当期 → 予想

当期の設備状況判断D.I.は▲10.6と、対前期比5.1ポイントの改善となり、最も改善幅が大きな業種となりました。来期予想については、D.I.は▲13.0と、不足感は強まる見込みです。



調査先のコメント

○景気回復の気配を少し感じるが、数年前と比較するとまだまだの状態である。景気回復を実感できるにはどのくらいの時間がかかるのか暗い気分である。
○原材料、各種処理加工費等が3月以降15～20%の値上要請があり、認めざるを得なかった。
○当社は造船を主体としているが、韓国、中国等との間で受注競争が激しい。
○燃料高騰及び脱炭素の影響により原発関連の工事が受注でき、当社には追い風が吹いている。
○めっき作業に必要な原材料等が高騰しており、生産コストが上昇している。設備ラインは14年が経過しており、今後改修工事が本格的になることが予想されるため、さらなる生産コストの見直しが重要課題になっている。
○業況は持ち直す予想である。
○景気の見通しがつかない。ここまで長くなるとは思わず、景気向上の要因が見つけられない。
○政府の賃上げ要請については疑問である。小さい事業所には無理がある。
○多くのユーザーが残業をせず生産調整に入っていて、今後も続くと見ている。8月以降さらなる悪化を予想し準備をしていくつもりである。
○景気動向は不透明感がある。一部取引先が2社の再編により業務連絡がスムーズになっていないため、6月頃まで作業量が減少する。
○親会社の発注動向（3ヶ月予測と実績）が20%位変動している。

卸 売 業 ～業況は2桁の改善をし前回調査時の今期見通しを大幅に上回った～

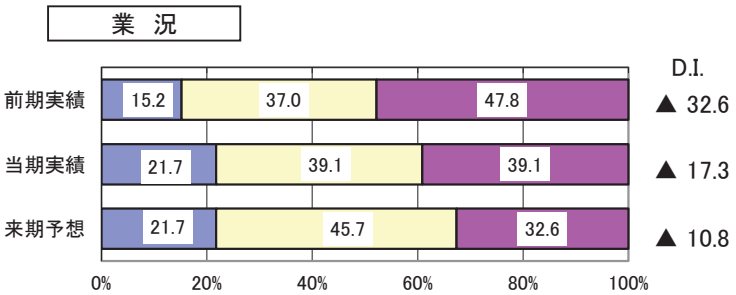
当期実績（2022年 4～ 6月期実績）
来期予想（2022年 7～ 9月期予想）

良い（多い）　普通　悪い（少ない）

1. 業　況

当期 → 予想

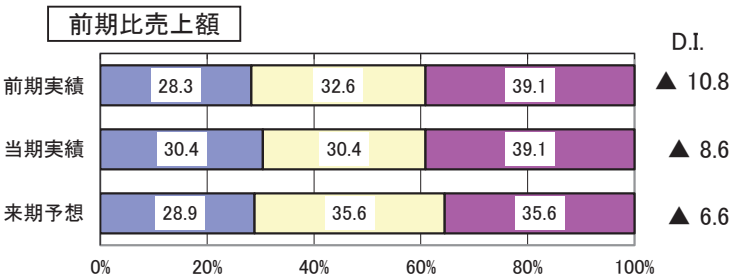
当期の業況判断D.I.は▲17.3と、対前期比15.3ポイントの2桁改善となりました。前回調査時における今期見通し（▲47.8）を30.5ポイントと大きく上回りました。来期予想については、D.I.は▲10.8と、6.5ポイントさらに改善をする見込みです。

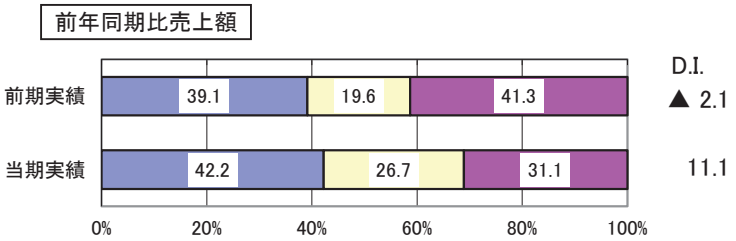


2. 売 上 額

当期 → 予想

当期の売上額判断D.I.は▲8.6と、対前期比2.2ポイントの小幅改善となりました。対前年同期比の売上額判断D.I.は11.1と、1～3月期から13.2ポイントの2桁改善となりプラス水準に転じました。来期予想については、D.I.は▲6.6と、2.0ポイントさらに改善をする見込みです。

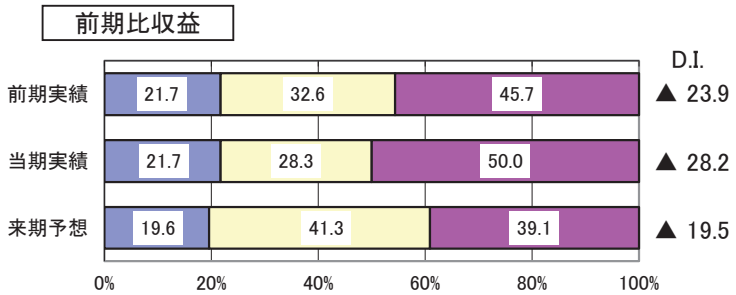


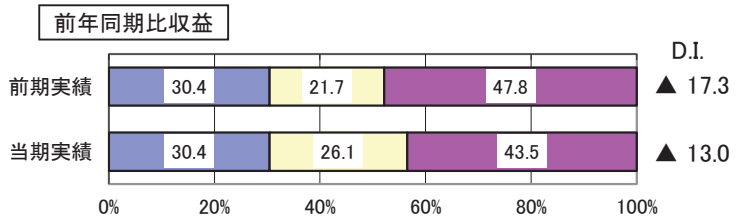


3. 収　益

当期 → 予想

当期の収益判断D.I.は▲28.2と、対前期比4.3ポイントの低下となりました。対前年同期比の収益判断D.I.は▲13.0と、1～3月期から4.3ポイントの改善となりました。来期予想については、D.I.は▲19.5と、8.7ポイントの改善をする見込みです。

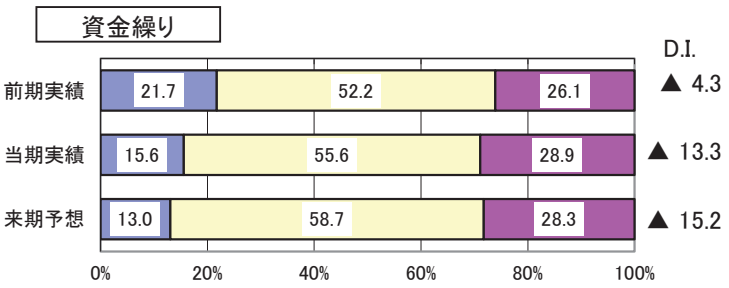




4. 資金繰り

当期 → 予想

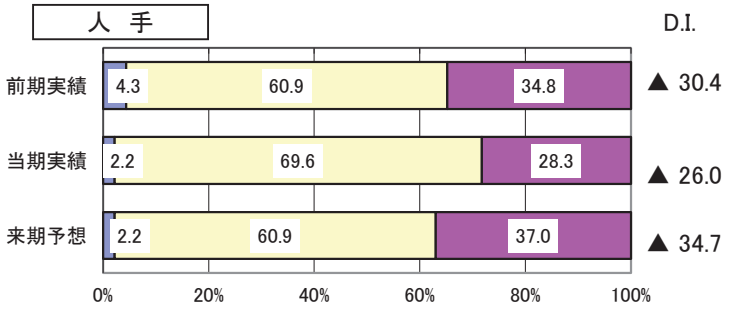
当期の資金繰り判断D.I.は▲13.3と、対前期比9.0ポイントの低下となり、低下幅が最も大きな業種となりました。来期予想については、D.I.は▲15.2と、1.9ポイントさらに低下をする見込みです。



5. 雇　用

当期 → 予想

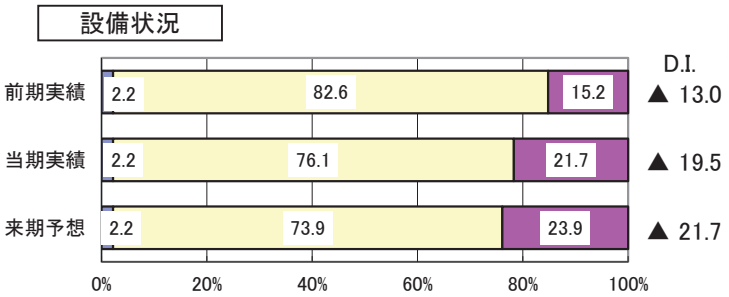
当期の雇用判断D.I.（過剰-不足）は▲26.0と、対前期比4.4ポイントの改善となりました。来期予想については、D.I.は▲34.7と、8.7ポイント低下し、低下幅が最も大きな業種となる見込みです。



6. 設備状況

当期 → 予想

当期の設備状況判断D.I.は▲19.5と、対前期比6.5ポイントの低下となり、水準及び低下幅が最も大きな業種となりました。来期予想については、D.I.は▲21.7と、不足感はさらに強まる見込みです。



調査先のコメント

○原材料の価格上昇に伴い仕入れ価格が上昇してきている。輸送コストの上昇によって運賃も上昇してきておりダブルで上昇になってきていて、世界情勢が気になるところである。

○SNSの発信によって売上をギリギリ担保できているような状態で、他社はもっと厳しいと思う。コロナと戦争が落ち着いてくれないと不安が解消されず見通しが立たない。

○原材料（仕入）の高騰が止まらず、単価の変更等に時間を取られ収益の増加が図れない。

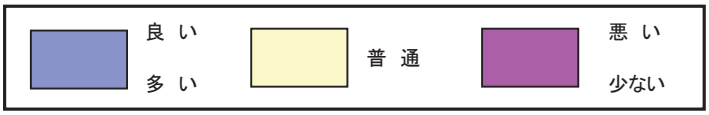
○ロシアのウクライナ侵攻が世界経済に及ぼす影響が大きくなり、今後が不安である。

経済指標について：DX（デジタルトランスフォーメーション）

DXとは、「Digital Transformation」の略で、「デジタル技術を活用し、ビジネスや生活そのものをより良いものに変化させること」を意味します。DX化の例として、サービス業ではウェブ予約システムやオンラインショップなどのシステムが導入されていましたが、他にもAI技術を利用した売上予測や在庫管理ができるようになってきており、予測の精度や管理の効率性が向上しています。一般的なオフィス業務では、Excelや紙媒体で管理していた社員の情報を人事システムや勤怠システムといったシステムで管理することにより、システム上での完結が可能となりコスト削減を図れます。その他の業界でもDX化は大きく進んでおり、IT技術は今よりもさらに身近な存在となり、多くの人がITと関わる機会が増えていくことが予想されます。

小 売 業　～業況は2桁改善したものの最も厳しい水準の業種となった～

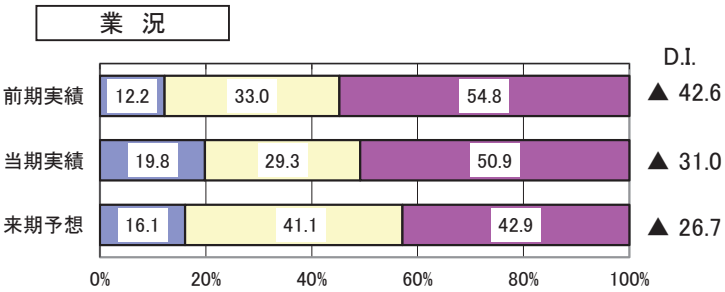
当期実績（2022年 4～ 6月期実績）
来期予想（2022年 7～ 9月期予想）



1. 業　況

当期 → 予想

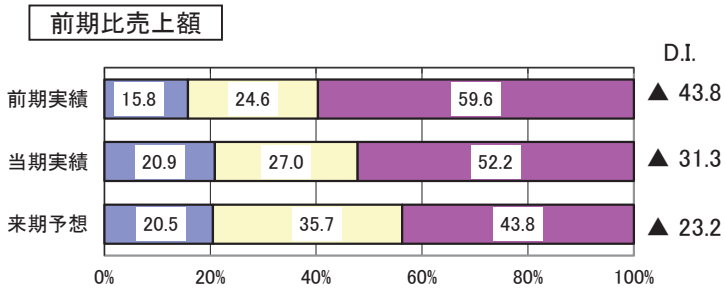
当期の業況判断D.I.は▲31.0と、対前期比11.6ポイントの2桁改善をしたものの最も厳しい水準の業種となりました。前回調査時における今期見通し（▲28.0）を3.0ポイント下回りました。来期予想については、D.I.は▲26.7と、4.3ポイントさらに改善するものの、今期実績同様最も厳しい水準の業種となる見込みです。

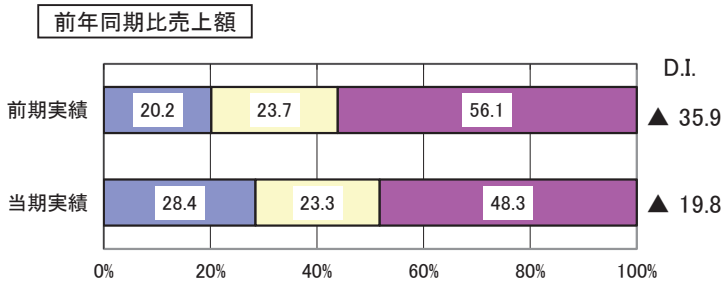


2. 売 上 額

当期 → 予想

当期の売上額判断D.I.は▲31.3と、対前期比12.5ポイントの2桁改善をしたものの最も厳しい水準の業種となりました。対前年同期比の売上額判断D.I.は▲19.8と、1～3月期から16.1ポイントの2桁改善となりました。来期予想については、D.I.は▲23.2と、8.1ポイントさらに改善するものの、今期実績同様最も厳しい水準の業種となる見込みです。

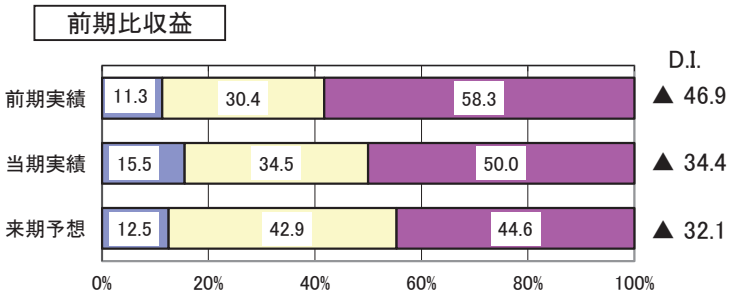


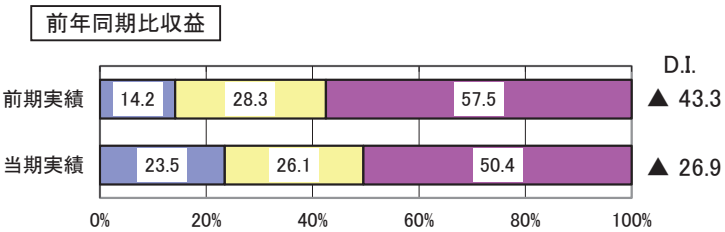


3. 収　益

当期 → 予想

当期の収益判断D.I.は▲34.4と、対前期比12.5ポイントの2桁改善したものの、最も厳しい水準の業種となりました。対前年同期比の収益判断D.I.は▲26.9と、1～3月期から16.4ポイントの2桁改善となりました。来期予想については、D.I.は▲32.1と、2.3ポイントさらに改善するものの、今期実績同様最も厳しい水準の業種となる見込みです。

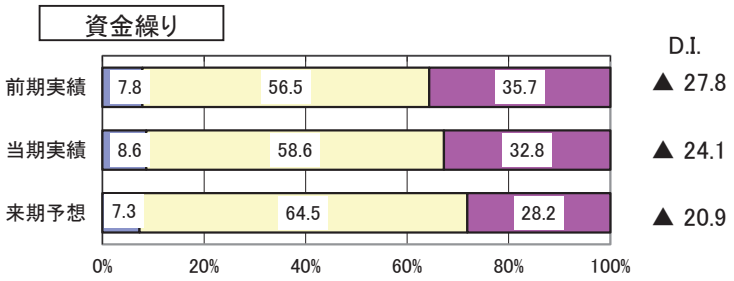




4. 資金繰り

当期 → 予想

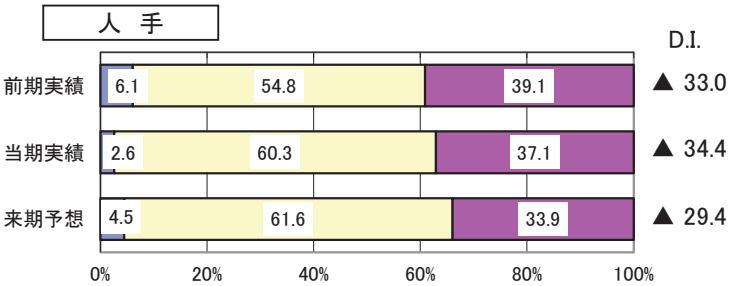
当期の資金繰り判断D.I.は▲24.1と、対前期比3.7ポイントの改善をしたものの、最も厳しい水準の業種となりました。来期予想については、D.I.は▲20.9と、3.2ポイントさらに改善するものの、今期実績同様最も厳しい水準の業種となる見込みです。



5. 雇　用

当期 → 予想

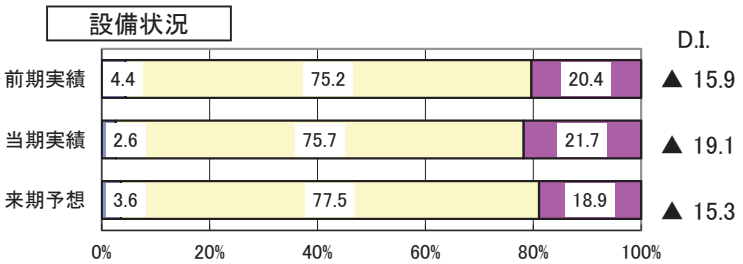
当期の雇用判断D.I.（過剰-不足）は▲34.4と、対前期比1.4ポイントの小幅低下となりました。来期予想については、D.I.は▲29.4と、人手不足感は緩和する見込みです。



6. 設備状況

当期 → 予想

当期の設備状況判断D.I.は▲19.1と、対前期比3.2ポイントの小幅低下となりました。来期予想については、D.I.は▲15.3と、不足感は多少緩和する見込みです。

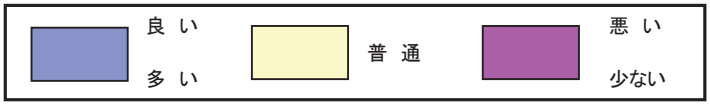


調査先のコメント

○5月の連休より人出が多くなった。これから経済が活発になることを期待している。
○車両入庫台数が減少して、売り上げる車両がない。
○商店街への客足が未だに悪いが、7月にプレミアム商品券が発売されるので多少の期待はある。
○新型コロナ対策について政府より順次緩和の方向が出てきて、観光地等にも人出が出始めている。売上回復のきっかけとなり好影響である。再び感染拡大を引き起こさないよう気を引き締めたい。
○悪いニュースの多い中、心理的な景気の上昇はしばらくないと思う。
○コロナ禍により農家の離農、原材料、肥料等の高騰がさらに進み、輸送費や仕入が高騰して大打撃を受けた期間だっだと思う。8年前に始めた危機管理がなければ当社は倒産していたと思う。良い人材を確保すべく他企業と一線を画した福利厚生や労働環境の改善に取り組んでいきたい。
○小麦の値上がりやガス料金が上がってコストがかかっていているが、売上はいまひとつである。
○多少仕入れ商品の値上げがあったが、コロナ感染者の減少で観光客が増加し、GWは人出が多く売上も上がった。
○先が読めない時代になってきてしまった気がする。
○原油高騰、コロナ、ウクライナ問題、社会的不安など、どの業界にも影響がある。それらの影響によりいろいろなことが過剰に制限されてそのまま制約や条件が残り、やりにくさが増している感じがする。

サービス業 ～業況、売上額、収益ともマイナス水準ながら大幅な改善となった～

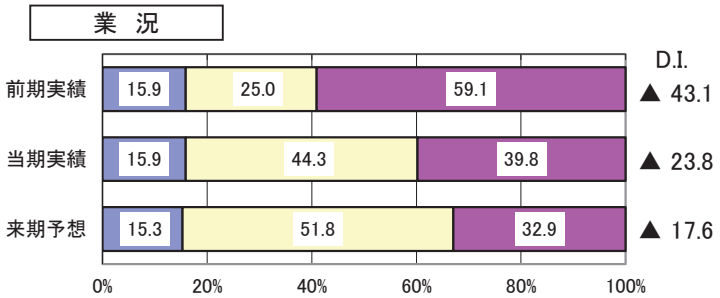
当期実績（2022年 4～ 6月期実績）
来期予想（2022年 7～ 9月期予想）



1. 業　況

当期 → 予想

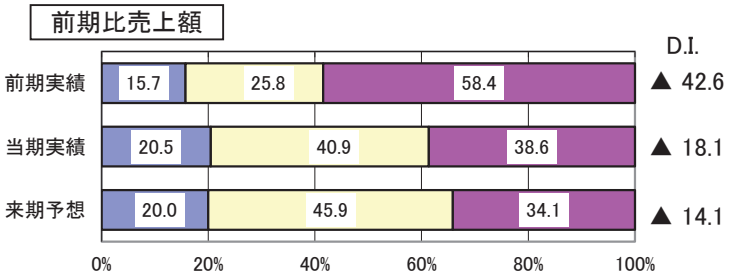
当期の業況判断D.I.は▲23.8と、対前期比19.3ポイントの2桁改善となり、改善幅が最も大きな業種となりました。前回調査時における今期見通し（▲32.9）を9.1ポイント上回りました。来期予想については、D.I.は▲17.6と、6.2ポイントさらに改善をする見込みです。

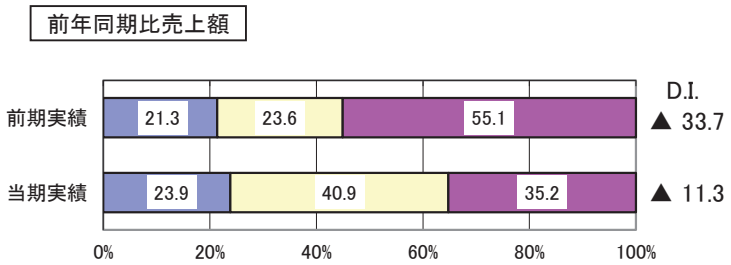


2. 売上額

当期 → 予想

当期の売上額判断D.I.は▲18.1と、対前期比24.5ポイントの大幅改善となり、改善幅が最も大きな業種となりました。対前年同期比の売上額判断D.I.は▲11.3と、1～3月期から22.4ポイントの大幅改善となりました。来期予想については、D.I.は▲14.1と、4.0ポイントさらに改善をする見込みです。

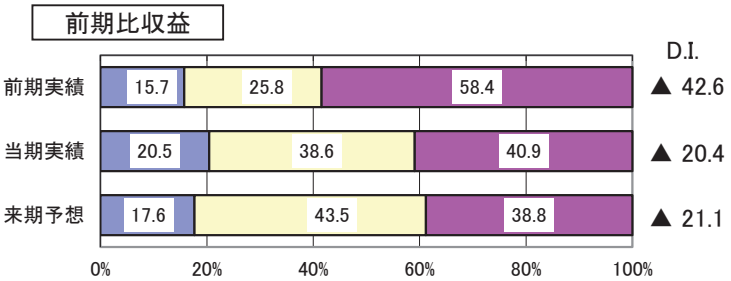


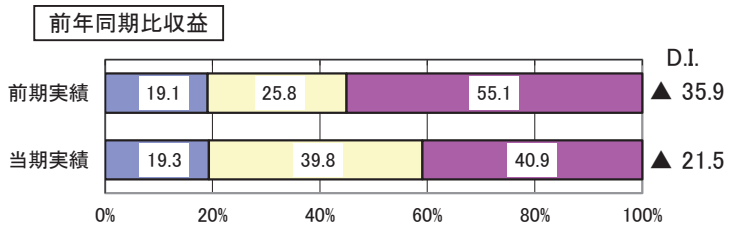


3. 収　益

当期 → 予想

当期の収益判断D.I.は▲20.4と、対前期比22.2ポイントの大幅改善となり、改善幅が最も大きな業種となりました。対前年同期比の収益判断D.I.は▲21.5と、1～3月期から14.4ポイントの2桁改善となりました。来期予想については、D.I.は▲21.1と、0.7ポイントの小幅低下をする見込みです。

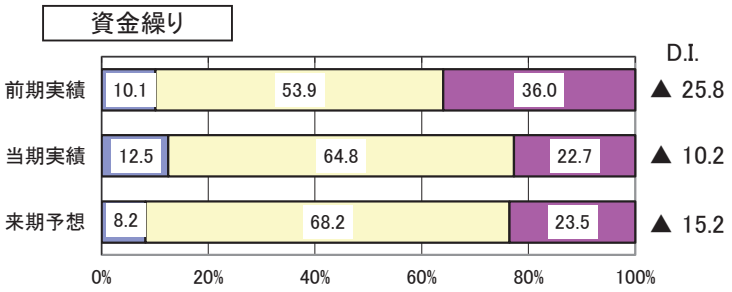




4. 資金繰り

当期 → 予想

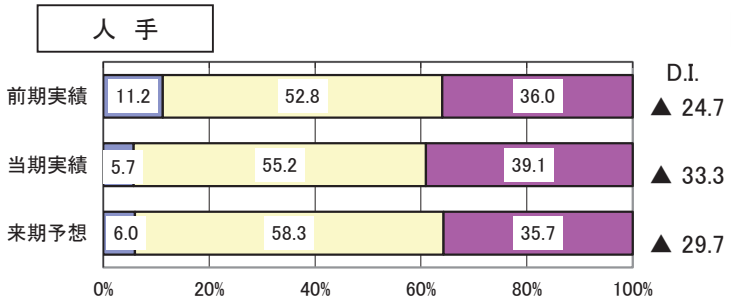
当期の資金繰り判断D.I.は▲10.2と、対前期比15.6ポイントの2桁改善となり、改善幅が最も大きな業種となりました。来期予想については、D.I.は▲15.2と、5.0ポイントの低下をする見込みです。



5. 雇　用

当期 → 予想

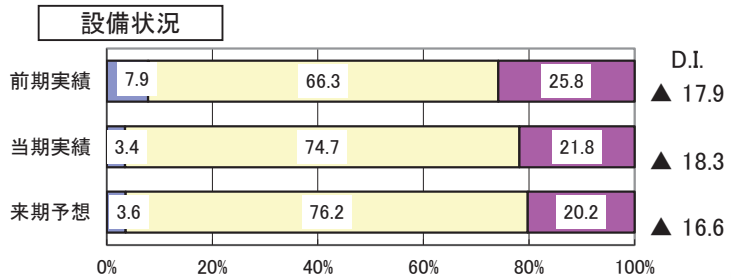
当期の雇用判断D.I.（過剰－不足）は▲33.3と、対前期比8.6ポイントの低下となり、低下幅が最も大きな業種となりました。来期予想については、D.I.は▲29.7と、人手不足感は多少緩和するものの厳しい水準が続く見込みです。



6. 設備状況

当期 → 予想

当期の設備状況判断D.I.は▲18.3と、対前期比0.4ポイントの小幅低下となりました。来期予想については、D.I.は▲16.6と、不足感は小幅に改善をする見込みです。



調 査 先 の コ メ ン ト

○まん延防止の解除後は、タクシー需要も増加しコロナ前程の売上まで回復している状況である。コロナ禍に対応するための新事業への着手と重なり順調な動きとなっているが、今後どのような動きになるかの不安が常に残るところである。

○6、7、8、9月と景気動向の見通しがまったく立たず、消費が非常に悪い。

○ウィズコロナ、ロシア・ウクライナ情勢、ブロック経済、政治、政策等、不測な因子が多く経営には不安定な状況である。

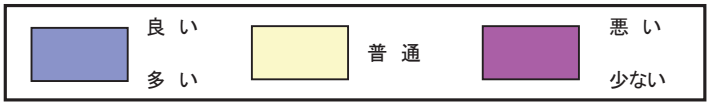
○資機材が値上がりしている中、発注主からの年間契約が減額となり、経営の将来に不安が生じている。

○他社にはない車両設備により需要が少しずつ増えてきている。運賃については原価を出して各社に提示している。従業員の時短についてはいろいろな角度から検討して少しずつ改善している。

○まん延防止が解除され、GWやその他の週末はほぼコロナ前に戻った感じがするが、人件費の高止まりと仕入の高騰が続き気がかりである。

建設業 ～業況は低下したが、来期は大幅な改善見込み。雇用は依然厳しい状況～

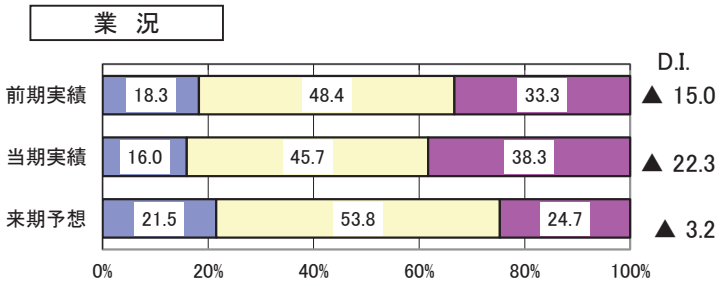
当期実績（2022年 4～ 6月期実績）
来期予想（2022年 7～ 9月期予想）



1. 業　況

当期 → 予想

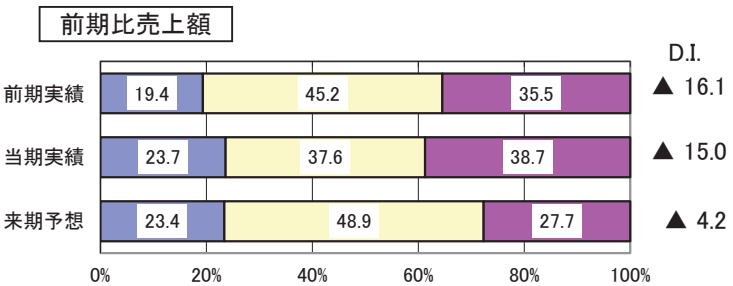
当期の業況判断D.I.は▲22.3と、対前期比7.3ポイントの低下となり、前回調査時における今期見通し（▲16.3）を6.0ポイント下回りました。来期予想については、D.I.は▲3.2と、19.1ポイントの2桁改善をし、改善幅が最も大きな業種となる見込みです。

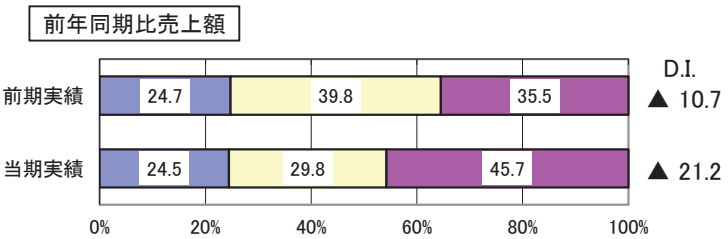


2. 売上額

当期 → 予想

当期の売上額判断D.I.は▲15.0と、対前期比1.1ポイントの小幅改善なりました。対前年同期比の売上額判断D.I.は▲21.2と、1～3月期から10.5ポイントの2桁低下となりました。来期予想については、D.I.は▲4.2と、10.8ポイントの2桁改善をし、マイナス水準ながら最も良い水準の業種となる見込みです。

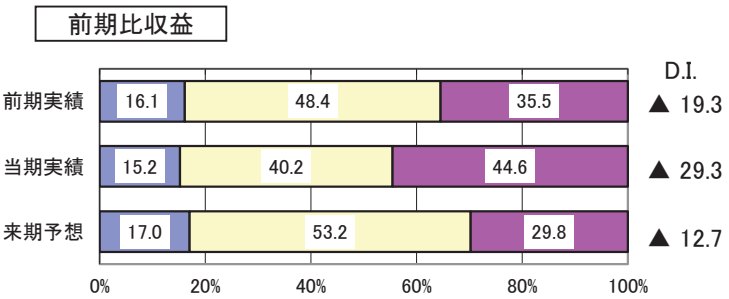


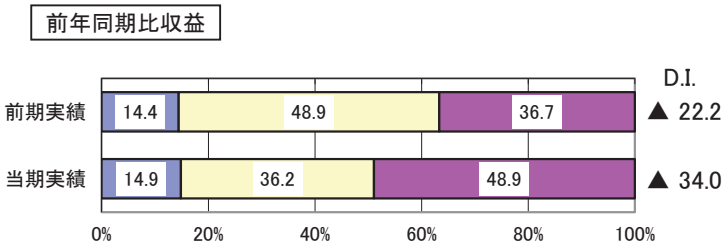


3. 収　益

当期 → 予想

当期の収益判断D.I.は▲29.3と、対前期比10.0ポイントの2桁低下となり、低下幅が最も大きな業種となりました。対前年同期比の収益判断D.I.は▲34.0と、1～3月期から11.8ポイントの2桁低下となりました。来期予想については、D.I.は▲12.7と、16.6ポイントの2桁改善をし、改善幅が最も大きな業種となる見込みです。

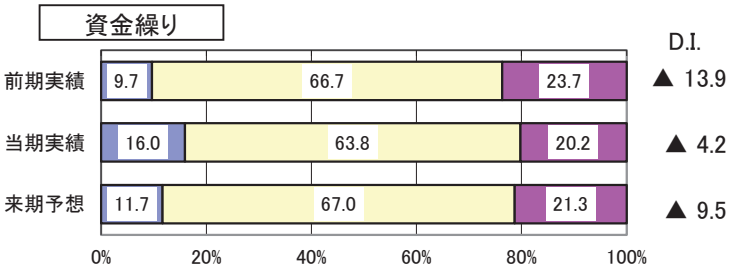




4. 資金繰り

当期 → 予想

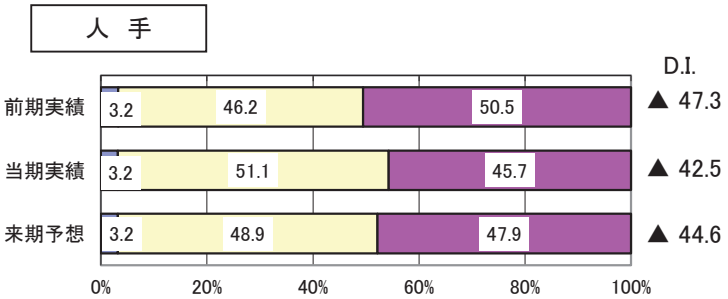
当期の資金繰り判断D.I.は▲4.2と、対前期比9.7ポイントの改善となりました。来期予想については、D.I.は▲9.5と、5.3ポイントの低下をする見込みです。



5. 雇　用

当期 → 予想

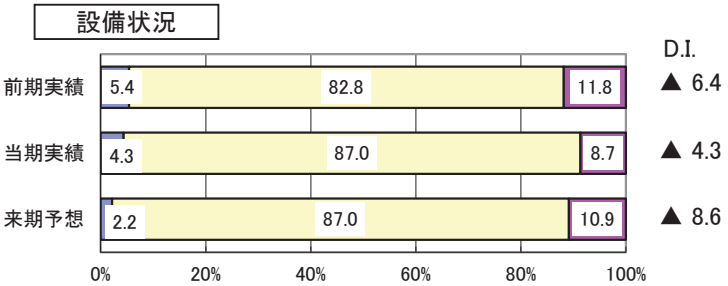
当期の雇用判断D.I.（過剰－不足）は▲42.5と、対前期比4.8ポイントの改善をしたものの、最も厳しい水準の業種となりました。来期予想については、D.I.は▲44.6と、2.1ポイントの低下をし、今期同様最も厳しい水準の業種となる見込みです。



6. 設備状況

当期 → 予想

当期の設備状況判断D.I.は▲4.3と、対前期比2.1ポイントの小幅改善をし、マイナス水準ながらも最も良い水準の業種となりました。来期予想については、D.I.は▲8.6と、不足感は強まる見込みです。



調 査 先 の コメント

○当社は7割を県外受注が占めている。5月以降は上向き傾向である。

○戦争やコロナ禍で世界、国内の社会不安の中、元受会社は発注の時期を見合わせている。

○戦争や円安により原材料が高騰している。また、人手不足もあり人件費も上がっている。工事案件は変わっていないが、利益の減少がどの程度になるか注視している。

○コロナ禍も3年目に入り予想を超えていて、いまだ先が見通せない。ガソリン価格の高騰は経費を圧迫している。最近のスーパーは値上げ品目、値上げ幅も大きく食料品にも影響している。今の経済情勢で会社を継続させるには、毎日の暮らし方を変える転換期とも思える。

○原価は上昇しているが工事単価のアップに苦しんでいる。売り先によって、単価のアップを認める先と認めない先があり、特に大手はコロナ禍以前の受注のため厳しい状況である。

○ロシアとの経済取引停止、および半導体不足による工事材の入荷遅れや値上がりのため事業への影響が大きい。

○コロナ禍、ウクライナ情勢等、事業にとって不安要素（仕入困難、価格高騰）が多くある中、職方の人手不足が進んでいる。苦しい時期が続いている状態で解体や改修工事のアスベスト規制強化や省エネ規制強化で現状は厳しくなる一方である。様々な規制は必要だと思うが、先行き不透明な状況で請負金額に直結する規制はますます需要を減少させる。SDGｓなど言う前に政府や行政は現実を把握して欲しいと思う。

不動産業 ～業況は低下しマイナス水準に転じた。来期も2桁の低下見通し～

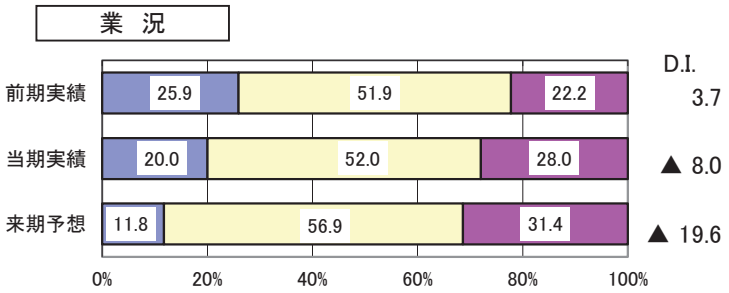
当期実績（2022年 4～ 6月期実績）
来期予想（2022年 7～ 9月期予想）

良い（多い） 普通 悪い（少ない）

1. 業　況

当期 → 予想

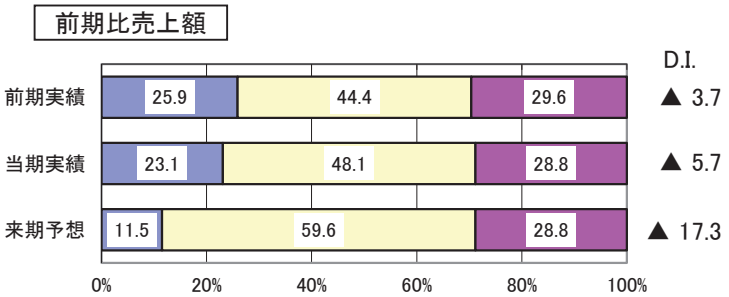
当期の業況判断D.I.は▲8.0と、対前期比11.7ポイントの2桁低下をし、マイナス水準に転じましたが、最も良い水準の業種となりました。前回調査時における今期見通し（▲1.8）を6.2ポイント下回りました。来期予想ついては、D.I.は▲19.6と、11.6ポイントさらに2桁低下をし、低下幅が最も大きな業種となる見込みです。

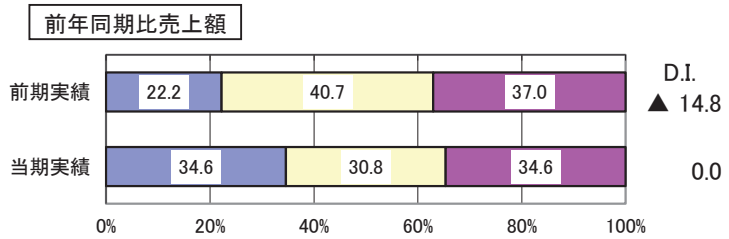


2. 売 上 額

当期 → 予想

当期の売上額判断D.I.は▲5.7と、対前期比2.0ポイントの小幅低下となり、マイナス水準ながら、最も良い水準の業種となりました。対前年同期比の売上額判断D.I.は0.0と、1～3月期から14.8ポイントの2桁改善となりました。来期予想については、D.I.は▲17.3と、11.6ポイントさらに2桁低下をし、低下幅が最も大きな業種となる見込みです。

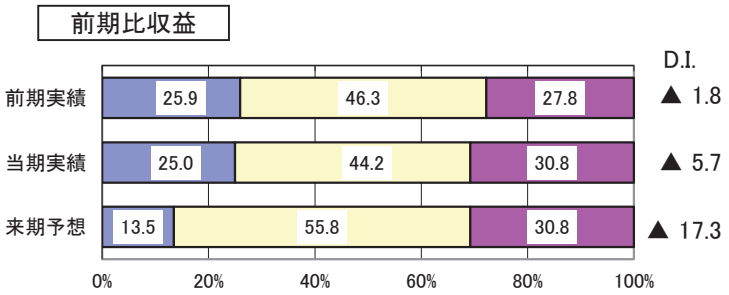


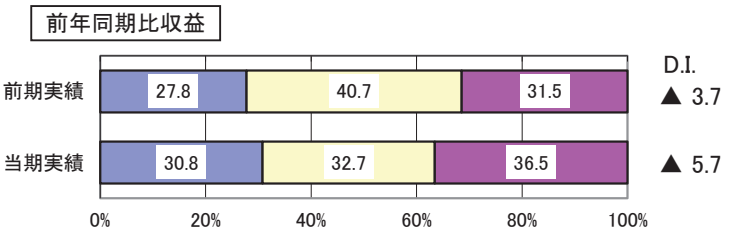


3. 収　益

当期 → 予想

当期の収益判断D.I.は▲5.7と、対前期比3.9ポイントの低下となり、マイナス水準ながら、最も良い水準の業種となりました。対前年同期比の収益判断D.I.は▲5.7と、1～3月期から2.0ポイントの低下となりました。来期予想については、D.I.は▲17.3と、11.6ポイントさらに2桁低下をし、低下幅が最も大きな業種となる見込みです。

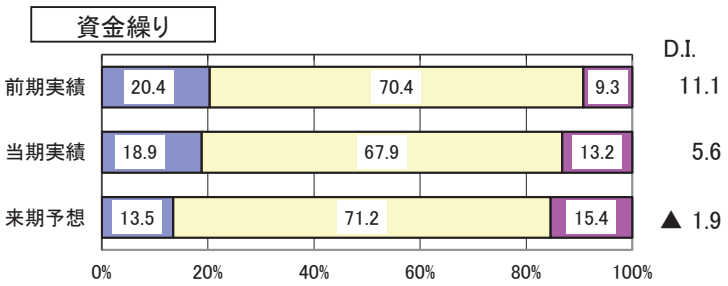




4. 資金繰り

当期 → 予想

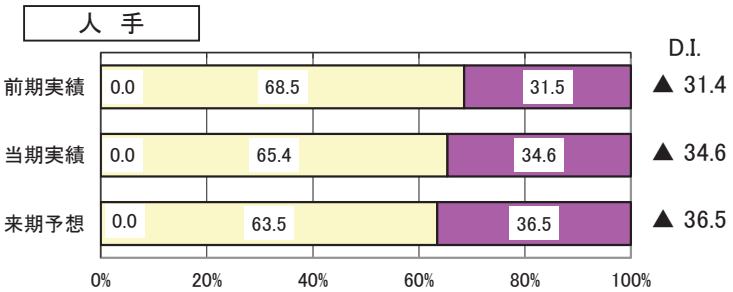
当期の資金繰り判断D.I.は5.6と、対前期比5.5ポイントの低下となりましたが、プラス水準を維持し、最も良い水準の業種となりました。来期予想については、D.I.は▲1.9と、7.5ポイント低下し、マイナス水準に転じるものの、今期実績同様最も良い水準の業種となる見込みです。



5. 雇　用

当期 → 予想

当期の雇用判断D.I.（過剰－不足）は▲34.6と、対前期比3.2ポイントの低下となり、建設業に次いで厳しい水準の業種となりました。来期予想については、D.I.は▲36.5と、1.9ポイントさらに低下し、厳しい水準が続く見込みです。



調査先のコメント

○コロナ、ウクライナ問題に加え上海ロックダウンの影響がこれから出てくると思われる。製品の納期がいっそう延びそうで心配である。

○土地仕入価格、建物価格の高騰により、一棟あたりの販売価格も上昇している。

○仕入原価のさらなる上昇と原材料の不足に伴う納期の延期が続いており、今後、戦争等の影響や諸外国との関係性の変化による状況の悪化を懸念している。

○上海のロックダウンによる影響を危惧している。

○マクロ経済の変動要因が連続して発生している。自分の業界に影響が生じるのか五感を働かせて考えていきたい。ベクトルの方向性を示して欲しい。

○コロナ以降戦争が始まってから、来店客がめっきり減少した。一部の富裕層を除いて、心理的な影響で不動産に目が向かなくなった。

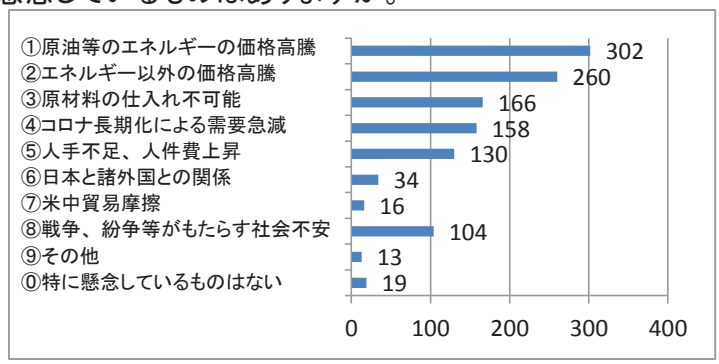
○建築資材が木材を筆頭に全般的に値上がりしている。また、4月以降も値上げの通知があり、原材料が上昇する状況で夏頃には高値安定状況と思われる。不動産に関しては、土地物件が非常に少なく、値上がりしているため動きが悪い。よって、現状はリフォーム工事及び賃貸収益を中心とした経営を推進中である。

○建築工事のため、法人の短期の駐車場契約が増えた。

特別調査 ・・・・「混迷する経済社会情勢と中小企業経営」
—コロナ、原材料価格高騰、海外情勢の緊迫化を受けて—

1. 御社では、最近の経済社会情勢について、特に懸念しているものはありますか。

最近の経済社会情勢について特に懸念しているものでは、①「原油・天然ガス等のエネルギーの価格高騰」が302社と最も多く、次いで②「エネルギー以外の価格高騰」が260社、③「原材料の仕入れ不可能」が166社と続いた。また、その他には、④「コロナ長期化による需要急減」が158社、⑤「人手不足、人件費上昇」との回答が130社であった。一方で、⓪「特に懸念しているものはない」との回答が19社であった。　　（最大3つまで複数回答）



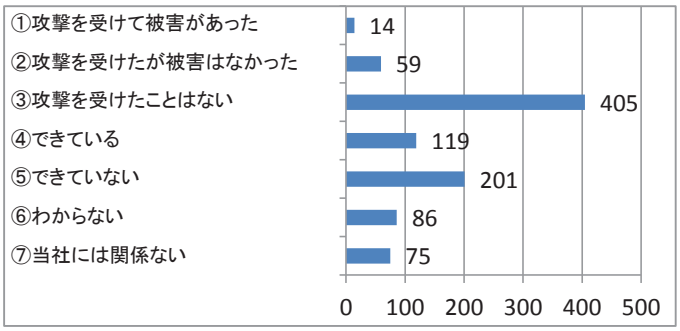
（注）①原油・天然ガス等のエネルギーの価格高騰

2.御社では、最近の原油・天然ガスなどのエネルギー価格の上昇により収益にどのような影響を受けていますか。また、今後、省エネにつながる設備投資を実施する予定はありますか。

エネルギー価格の上昇による収益への影響については、「危機的な悪影響がある」が15社、「かなり悪影響がある」が140社、「多少悪影響がある」が257社で、悪影響があるとの回答が計412社で約85％を占めた。一方で、「ほとんど影響はない」が49社、「むしろ好影響がある」が3社であった。また、設備投資の実施については、「実施予定がある」との回答は76社で16％を占めた。また、「実施予定はない」との回答は387社であった。

3.御社は、サイバー攻撃による被害を受けたことがありますか。また、サイバーセキュリティを確保するため、人材を確保し、態勢を整備していますか。

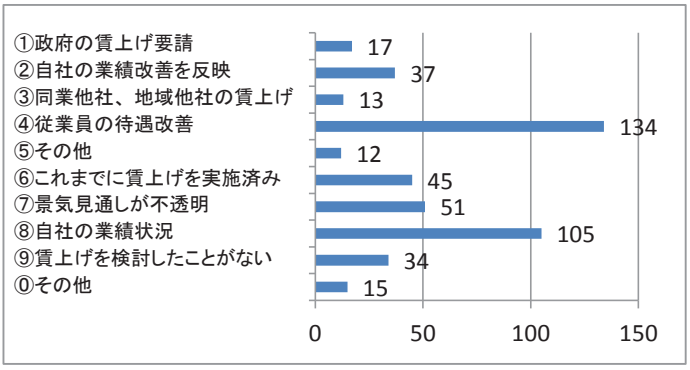
サイバー攻撃による被害を受けたことがあるかについては、①「攻撃を受けて被害があった」が14社、②「攻撃を受けたが被害はなかった」が59社で攻撃を受けたという回答は、計73社で15％であった。一方で405社が③「攻撃を受けたことはない」という回答となった。また、人材を確保し、態勢を整備しているかについては、④「できている」との回答が119社で24%を占めた。また⑤「できていない」との回答は201社であった。



①～③(サイバー攻撃による被害)、④～⑦(人材の確保・態勢の整備)

4.経済社会情勢の混迷のなかで政府から賃上げが要請されていますが、御社では、賃上げを実施しましたか。

賃上げを実施したかについて、賃上げを実施したという理由で最も多かったのは、④「従業員の待遇改善」で134社、次いで②「自社の業績改善を反映」が37社で続いた。一方、賃上げを実施していないという理由では、⑧「自社の業績状況」が105社と最も多く、次いで⑦「景気見通しが不透明」が51社であった。また、⑨「賃上げを検討したことがない」という回答も34社あった。



①～⑤(賃上げを実施した理由)、⑥～⓪(賃上げを実施しなかった理由)

5.御社では、コロナ禍を受けて、事業継承（M＆Aを含む。）についての考え方に変化はありましたか。

事業継承についての考え方に変化はありましたかについては、「事業継承の方法に変更はない」が239社と最も多かった。次いで「事業継承について考えたことがない」が125社、「事業継承の検討を始めた」が57社と続いた。他には、「事業継承の時期を早める」が10社、「事業継承の時期を遅くする」が6社であった。

お客さま景況インタビュー

インタビュー日付
2022 年 5 月 19 日

株式会社　中村屋羊羹店　～海苔羊羹発祥の店、伝統の味を守り続けて～

代　　表　　者	代表取締役　中村　定夫
本 社 所 在 地	藤沢市江の島 2 丁目 5-25
創　　業	明治 35 年（創業 120 年）
事　業　内　容	羊羹・和菓子製造販売

明治 35 年創業、江の島名物“元祖海苔羊羹”を製造し、伝統の味を守り続けている株式会社中村屋羊羹店の経営者のお話を聞かせて頂きました。

Ⅰ．創業 120 年の味、“元祖海苔羊羹”の誕生

当社は、当初「傳左（でんざ）」という名称で駄菓子を販売していました。明治 35 年三代目中村助次郎が島の岩場一面に付着する海苔を羊羹に入れることを思いつき、当時は東京のお菓子屋に製造を委託し、江島神社を訪れる参拝者用の「お土産」として羊羹を販売していました。大正 7 年、島の貯水（岩清水）を応用し念願の島内での羊羹作りに成功、特に海苔羊羹は、江の島で採取した海苔を乾燥させ、鉄板の上で焼き練り上げた直後に上質な白いんげん豆の羊羹に程よく混ぜ完成させました。現在も「江の島の名物」としてご好評を頂いており、第二十二回全国菓子大博覧会最高位名誉総裁賞を受賞しています。

Ⅱ．景況について

観光地である江の島は新型コロナウイルス感染症拡大による緊急事態宣言や県からの外出自粛要請で観光客数は減少となり、当社も先行き不透明な状況が続きました。また、小豆等原材料の価格上昇を受け、売値を上げることも一時は検討しました。しかし観光客数や団体のお客様が減っているので、少しでも多くのお客様に安心してご堪能頂けるよう現在の価格を維持することとしました。今年のゴールデンウィークは新型コロナウイルス感染症対策の緩和による行動制限のない連休となり、江の島は久しぶりに活気に溢れましたが、新型コロナウイルス感染症の収束には至っておらず、景況はまだまだ不安定な状態が続く見込みです。今後も藤沢の観光案内所での販売やオンラインによるネット販売にも注力していきます。

Ⅲ. こだわりの“味”　と江の島の新しいお土産

当社は、こだわりの味をお届けするために原料に拘っています。当社製造直売とし、品質の向上に努め、昔ながらの味を堪能して頂きたく、国産の最高級の原料と独特の秘法で製造を行っています。時代と共に文化や好みの味は変わっていきますが、創業当初からの製法を守りながら今も昔も変わらない“味”をお客様に届けられるよう努力しています。また、江の島の素材を活かした新名物の商品開発も行っています。江島神社のお清めの御塩を使った“弁天塩羊羹”を商品化しました。江島神社の御塩を使用し、白あんと小豆あんを練りあげた江の島ならではの商品となっています。

栗羊羹　本練羊羹　元祖海苔羊羹　　弁天塩羊羹

【将来に向けた取り組み】

当社のモットーは「誠実・熱意・努力」であり「努力するものの頭（こうべ）に神宿る」だと思っています。現在の経済を取り巻く環境から不安定な状況は続きますが“忍耐と努力”で伝統の味を守り、江の島を訪れた人の疲れを癒す、憩いの場となるようなお店作りを目指していきます。

かながわ信用金庫が、皆さまのさまざまなご要望・お悩みの解決を

サポートします!!

さまざまな夢の実現や悩みの解決を、
「経営革新等支援機関」の認定を受けている
かながわ信用金庫がサポートいたします。
ぜひ、かながわ信用金庫にお声かけください。

創業支援

独立・創業を志す方を全力で応援します！

補助金・助成金等支援

各種補助金や助成金等の活用や申請を
さまざまな側面から支援します。

事業承継

事業の円滑な承継に向け、多岐にわたり
お手伝いします。

経営改善・事業再生

事業再生に向けた計画立案から計画実行
など、経営強化に向けてお手伝いします。

お問い合わせは・・・

お電話で

顧客サポート部

046-821-1733

（受付時間　平日９時～17 時）

インターネットで

かながわ信用金庫ホームページ

https://www.shinkin.co.jp/kanagawa

または　かながわ信金　経営サポート　検索

本レポートは、情報提供のみを目的とした標記時点における当金庫の考え方を示したものです。施策実施等に関する最終決定は、ご自身の判断でなされますようお願いします。また、この資料は、当金庫が信頼できると考える情報源から得た各種データに基づいて作成されていますが、その情報の正確性および完全性について当金庫が保証するものではありません。

発　行　かながわ信用金庫
住　所　〒238-0004　横須賀市小川町7番地
TEL　046－826－1515（平日9:00～17:00）
編　集　株式会社　かなしんトータルサービス
住　所　〒235-0023　横浜市磯子区森1丁目10番10号
TEL　045－263－6363（平日9:00～17:00）

かながわ信用金庫 かなしん